

第5回「子どもの心の診療に携わる専門の医師の養成に関する検討会」

平成17年7月27日(水) 16:00~18:00
中央合同庁舎第5号館5階共用第7会議室

会 議 次 第

1. 開会
2. 中間報告書の骨格について
3. その他
4. 閉会

資 料

資料 1	開催要綱	5
別紙	「子どもの心の診療医」のイメージ図（案）	7
資料 2	「子どもの心の診療医検討会」スケジュール	9
資料 3	中間報告等の骨格について（案）	11
資料 4	子どもの心の診療医の養成について ～中間報告書の骨格について（案）～	13
資料 4-1	子どもの心の診療に関する議論の前提	15
資料 4-2	子どもの心の診療医の養成の現状について	17
資料 4-3	子どもの心の診療に関する周辺課題の提示	19
資料 4-4	子どもの心の診療医の養成方法についての検討課題	21
資料 4-4（補足資料）	一次～三次医療機関の医師に必要な知識と技術（議論のたたき台）	25
別紙 1	子どもの心の問題のプロフィール	31
別紙 2	子どもの心の診療に携わる専門の医師の養成に関する関係者の 取組みの現状（概要）	35
別紙 3	子どもの心の診療医養成に関する周辺課題	41
参考	総患者数（傷病中分類、傷病小分類及び傷病基本分類による） ～平成14年 患者調査～	

「子どもの心の診療に携わる専門の医師の養成に関する検討会」開催要綱

厚生労働省雇用均等・児童家庭局

1. 目的

「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」は、「健やか親子21」の主要4課題の一つとして推進されており、「子ども・子育て応援プラン」（平成16年12月24日少子化社会対策会議決定）においては、今後5年間の目標として、「子どものこころの健康に関する研修を受けている小児科医、精神科医（子どもの診療に関わる医師）の割合100%」を掲げている。

児童虐待が急増する中、心身の発達障害や心の問題を抱える子どもの保護者の育児不安を解消することが児童虐待の防止にもつながることが認識され、子どもの心の問題に関する診療を行うことのできる専門家の確保が急務となっている。

さらに、平成16年12月に成立した「発達障害者支援法」に基づき、発達障害児の健全育成を促進するための総合的な地域支援を推進することが求められており、発達障害の診断・治療やケアを適切に行うことのできる小児科医及び児童精神科医の需要が増大している。

しかしながら、我が国では、心身症や精神疾患及び虐待による心の問題や発達障害などの子どもの心の問題に対応できる小児科医及び児童精神科医が極めて少ない状況にある。

このため、雇用均等・児童家庭局長が「子どもの心の診療に携わる専門の医師の養成に関する検討会」を開催し、子どもの心の診療に携わることのできる小児科や精神科などの専門の医師の養成方法について、有識者や関係学会の代表による検討を行う。

2. 構成

- (1) 検討会の構成員は別紙のとおりとする。
- (2) 検討会に座長を置く。

3. 検討項目

- (1) 子どもの心の診療に関する現状と課題
- (2) 今後の子どもの心の診療に携わる専門の医師の養成方法について

4. 運営

- (1) 検討会は公開とする。
- (2) 検討会の庶務は、雇用均等・児童家庭局（母子保健課）で行う。

5. その他

この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が雇用均等・児童家庭局長と協議の上定める。

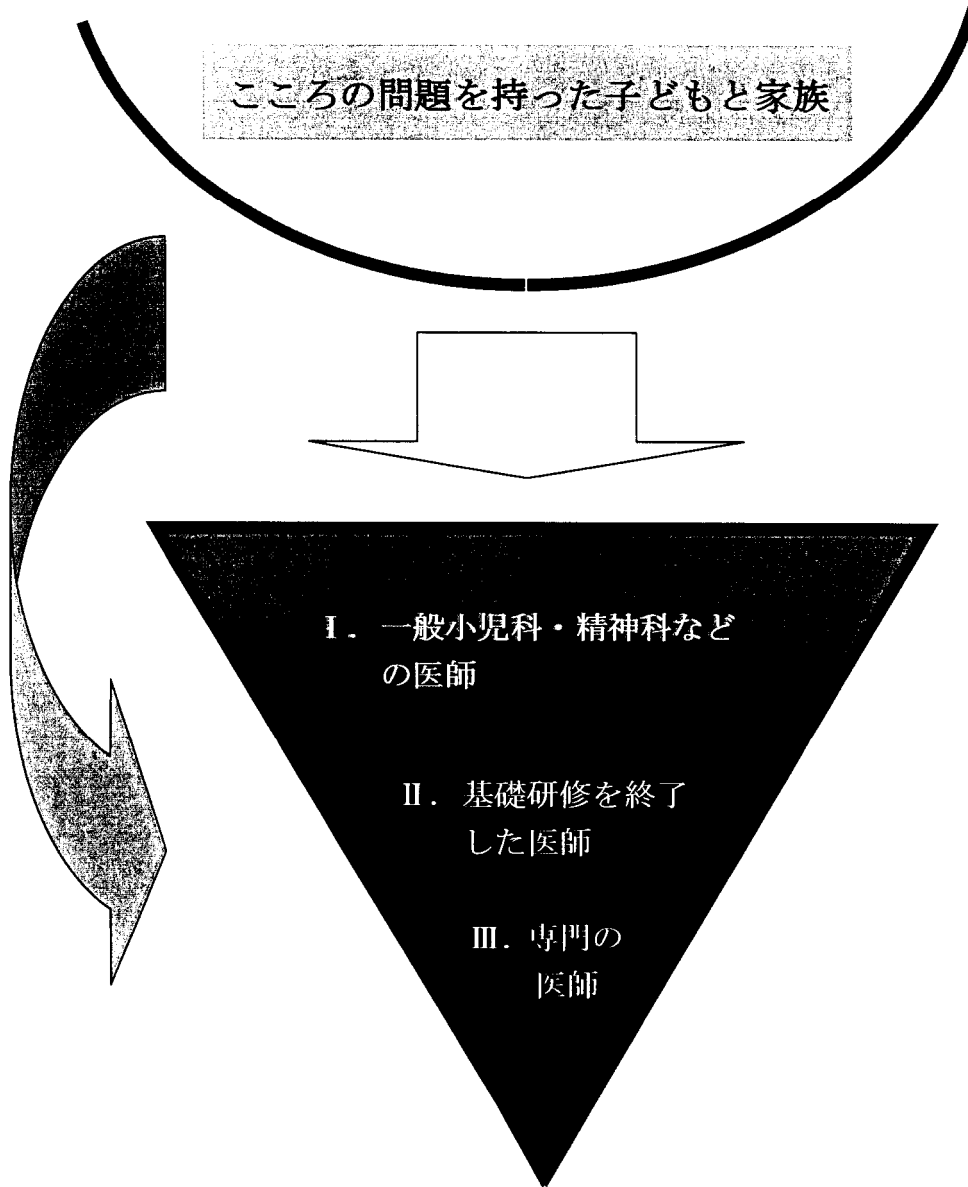
(別紙)

「子どもの心の診療に携わる専門の医師の養成に関する検討会」委員名簿

- 牛島 定信 日本児童青年精神医学会理事長、東京慈恵会医科大学名誉教授、
東京女子大学文理学部心理学科教授
- 奥山 真紀子 国立成育医療センターこころの診療部部長
- 齋藤 万比古 国立精神・神経センター精神保健研究所児童・思春期精神保健部長
- 杉山 登志郎 日本小児総合医療施設協議会、あいち小児保健医療総合センター心療科部長
- 富田 和巳 日本小児心身医学会理事長、こども心身医療研究所所長
- 西田 寿美 全国児童青年精神科医療施設協議会会長、
三重県立小児診療センターあすなろ学園長
- 伯井 俊明 社団法人日本医師会常任理事
- 別所 文雄 日本小児科学会理事、杏林大学小児科学教授
- 星加 明德 日本小児精神神経学会理事長、東京医科大学小児科学教授
- 保科 清 社団法人日本小児科医会副会長、国際医療福祉大学附属三田病院小児科教授
- 南 砂 読売新聞編集局解説部次長
- 桃井 真里子 日本小児神経学会理事、自治医科大学小児科学教授
- 森 隆夫 社団法人日本精神科病院協会常任理事、あいせい紀年病院理事長
- ◎柳澤 正義 日本子ども家庭総合研究所副所長、国立成育医療センター名誉総長
- 山内 俊雄 日本精神神経学会理事長、埼玉医科大学学長
- 吉村 博邦 全国医学部長病院長会議会長、北里大学医学部長

◎座長、○副座長 (五十音順、敬称略)

イメージ図



「子どもの心の診療医の養成に関する検討会」スケジュール

- 第1回 平成17年3月16日(水) 16:00~18:00
- ・ 問題提起
- 第2回 平成17年4月20日(水) 15:30~18:00
- ・ 子どもの心の診療医の養成に関する関係者の取組みの現状 I
- 第3回 平成17年5月11日(水) 15:30~17:30
- ・ 子どもの心の診療医の養成に関する関係者の取組みの現状 II
 - ・ 子どもの心の診療医の養成方法について
- 第4回 平成17年6月29日(水) 14:30~16:30
- ・ 子どもの心の診療医の養成方法について
- 第5回 平成17年7月27日(水) 16:00~18:00
- ・ 子どもの心の診療医の養成について
～中間報告書の骨格について(案)～
- 第6回 平成17年10月5日(水) 16:00~18:00(予定)
- ・ 中間報告書案について
- 第7回 平成18年11月中旬頃(予定)
- ・ 中間報告書の取りまとめ
- 第8回 平成18年1月中旬頃(予定)
- ・ 報告書取りまとめ

中間報告等の骨格について（案）

I. 中間報告（秋頃を目途？）

これまでの議論を議事録風に取りまとめた上で、次の事項を含む

1. 心の問題への初期対応ができる一般小児科医・精神科医の養成体制に関する提言案作成
2. 基礎研修終了医の養成体制に関する提言案作成
3. 専門医研修体制に関する問題点の整理
4. 卒前教育充実に関する問題点の整理
5. 周辺課題の提示

II. 最終報告（17年度末）

中間報告の内容に加え、次の事項を含む

1. 専門医研修体制に関する提言案の作成
2. 卒前教育充実に関する提言案の作成
3. 周辺課題の提示